

TEC-FORCEとは

※TEC-FORCE(TEchnical Emergency Control FORCE):緊急災害対策派遣隊

- 大規模自然災害への備えとして、迅速に地方公共団体等への支援が行えるよう、平成20年4月にTEC-FORCEを創設し、本省災害対策本部長等の指揮命令のもと、全国の地方整備局等の職員が活動。
- TEC-FORCEは、大規模な自然災害等に際し、被災自治体が行う被災状況の把握、被害の拡大の防止、被災地の早期復旧等に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施。
- 南海トラフ巨大地震や首都直下地震をはじめ、大規模自然災害の発生が懸念されている中、令和6年4月には隊員数を約1万7千人に増強(創設当初約2,500人)。ドローン等のICT技術の活用や、装備品等の増強など、体制・機能を拡充・強化。

活動内容

災害対策用ヘリコプターによる被災状況調査



【令和元年東日本台風】
(長野県長野市上空)

市町村へのリエゾン派遣



【H27.5 口永良部島の火山活動】
(鹿児島県屋久島町)

被災状況の把握



【令和2年7月豪雨】
(熊本県五木村)

被災映像の共有



【令和3年7月1日からの大雨】
(島根県飯南町)

自治体への技術的助言



【令和4年8月の大雨】
(山形県米沢市)

排水ポンプ車による緊急排水



【H30.7月豪雨】
(岡山県倉敷市真備町)

捜索活動への技術的助言



【H28.4 熊本地震】
(熊本県南阿蘇村)

給水機能付き散水車による給水支援



【R6.1 能登半島地震】
(石川県かほく市)

令和6年能登半島地震におけるTEC-FORCEの活動

・TEC-FORCE派遣人数 のべ 25,967人・日
 ・災害対策用機械等 のべ 6,748台・日

- 令和6年1月1日(月)石川県能登地方を震源とする最大震度7、5強の地震が連続して発生し、日本海側に大津波警報が発表された。
- 北陸地方を中心に43市16町4村と**ホットラインを構築**し、被災地支援のため各地(北陸、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州地整、北海道開発、沖縄総合、北陸信越、北海道、東北、関東、中部、近畿、神戸、中国、四国運輸、東京・大阪航空局、地理院、国総研、土研、建研、港空研、気象庁、国土交通本省)から**TEC-FORCEを派遣**。
- 被害全容の迅速な把握のため、国交省が所有する**防災ヘリ4機(ほくりく号、みちのく号、あおぞら号、きんき号)**と**Car-SAT3台**による**広域被災状況調査**を実施。
- 土砂崩れ等により通行不能となった県、市町管理道路に対して建設業者と連携した道路の**緊急復旧(道路啓開)**を実施。
- 断水となった地域へ**給水機能付散水車による給水支援**や(独)水資源機構が保有する**可搬式浄水施設を投入**。被災を受けた上下水道施設の復旧にあたっては、**厚生労働省と連携して復旧支援を実施**。また資材調達要請に応えた**物資支援**を実施。
- 停電が長期にわたる避難所等へ、**照明車を電源車として派遣し、被災者への電源支援**を実施。
- **被災状況調査**では**道路、河川、砂防、海岸、鉄道、港湾、空港、地理情報**の調査を実施。また、**建築物の応急危険度判定**を実施。
- **災害対策用機械(照明車、衛星通信車、対策本部車、待機支援車、排水ポンプ車、バックホウ、Ku-SAT)**を派遣し、各地の**被害に対する応急対策等**を実施。

■リエゾン・JETTによる情報支援

- リエゾンによる支援ニーズの聞き取り、被災情報の提供・収集等を実施



珠洲市長へ支援ニーズの確認
(石川県珠洲市)

■緊急復旧(道路啓開)

- 通行不能となった県市町管理道路の緊急復旧を行い、孤立解消や支援物資等の輸送路を確保



建設業者と連携した道路の緊急復旧
(石川県輪島市)

■給水機能付散水車、可搬式浄水装置による給水支援

- 断水となった地域へ、給水機能付き散水車による給水支援を実施
- 水資源機構所有の可搬式浄水装置2台を投入し浄水活動を実施



給水機能付散水車による給水支援
(石川県かほく市)



可搬式浄水装置の設置
(石川県珠洲市)

■照明車による電源支援

- 国交省所有の照明車を停電中の避難所へ接続、給電する電源支援を実施



避難所へ照明車からの電源支援
(石川県輪島市)

■自治体が管理する公共施設の被災状況調査

- 道路、河川、砂防、港湾等の公共施設等の被害調査を実施
- 上空や車上から広域の被災状況調査を行い、調査映像を自治体と共有



道路の被災状況調査
(石川県内灘町)



ドローンを使った被災状況調査
(石川県輪島市)

■被災建築物の応急危険度判定

- 国交省職員が現地で建築物の外観調査を実施し、倒壊の危険性などを判定



被災建築物応急危険度判定
(石川県穴水町)

■上下水道施設の復旧支援

- 国交省・厚労省職員が現地で連携し支援



七尾市長へ支援方針について説明
(石川県七尾市)

■待機支援車を活用した活動支援

- 国交省所有の待機支援車を派遣し、宿泊場所として活用し復旧事業等への活動支援を実施



待機支援車による宿泊場所の確保
(石川県輪島市)

令和6年7月25日からの大雨におけるTEC-FORCEの活動

○7月23日頃から北日本に停滞した梅雨前線の影響で、東北地方の日本海側を中心に北日本から西日本では大雨となり、山形県では25日の昼過ぎと夜に線状降水帯が発生して大雨特別警報を2度発表した。また、東北地方を中心に、24日から26日にかけての3日間の降水量が400ミリを超えた地点や平年の7月の月降水量を超えた地点があり、記録的な大雨となった影響により国管理で2水系4河川、県管理で11水系35河川で浸水被害が発生した。

○秋田県、山形県を中心に、29自治体(13市12町4村)とホットラインを構築し、3県19自治体(2県庁8市5町4村)にTEC-FORCEとしてリエゾン等を派遣し自治体のニーズを把握したほか、東北地方整備局に加え、関東・中部地方整備局からも広域派遣を行い、ドローンも活用して効率的な被災状況調査等を実施し、被災自治体を支援。

○被害の迅速な全容把握のため、防災ヘリコプター(みちのく号)とCar-SATによる被災状況調査を実施。

○災害対策用機械(排水ポンプ車、照明車等)を前進配備し、浸水が発生した地区で緊急的な排水作業を実施。

■自治体のニーズを把握(リエゾン)



県職員とリエゾンとの情報共有
(秋田県庁)



自治体職員との情報共有
(秋田県大仙市)

■被災状況調査



ドローンによる被災状況調査
(秋田県由利本荘市)



被災状況調査(道路)
(山形県鮭川村)

■被災状況調査(防災ヘリ、Car-SAT)



防災ヘリによる調査
(山形県最上郡戸沢村)



Car-SATによる調査
(秋田県由利本荘市)

■災害対策用機械(前進配備と排水作業)



排水ポンプ車の前進配備
(山形県庄内町)



排水ポンプ車による排水活動
(秋田県大仙市)

○9月20日～22日にかけて前線および台風第14号から変わった低気圧が日本海から三陸沖へ進み、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で大気の状態が非常に不安定となり、秋田県、石川県では21日午前中に線状降水帯が発生し、石川県能登では、21日に輪島市、珠洲市及び能登町に大雨特別警報が発表され、石川県の多いところでは20日から22日までの総降水量が500ミリを超え、9月1ヶ月間の平年の降水量の2倍を上回るなど、北陸地方や東北地方で記録的な大雨となった。

○この記録的な大雨の影響により県管理の21水系28河川で浸水被害が発生したほか、石川県を中心に全国で121件の土砂災害が発生した。

○全国の53自治体(27市20町6村)へホットラインと構築し、5県11自治体(5県庁4市2町)にリエゾン等を派遣し自治体のニーズを把握した。

TEC-FORCE隊員の広域派遣(北海道開発局、東北地整、関東地整、中部地整、近畿地整)し、**ドローン**等を活用した**被災状況調査**のほか、**排水ポンプ車による排水作業**や、**道路啓開作業**等の応急対策を実施し、**被災地の早期復旧を支援**。

○被害の迅速な全容把握のため、**防災ヘリコプター**(ほくり号(北陸地整)、まんなか号(中部地整)、きんき号(近畿地整))や**Car-SAT**(北陸地整)による被災状況調査を実施。

○**災害対策用機械(照明車、散水車(給水装置付)等)**を派遣し、避難所への**電源支援**や断水した地域に**給水支援**を実施した。

・TEC-FORCE派遣人数 のべ3,448人・日
 ・災害対策用機械等 のべ981台・日

自治体のニーズを把握(リエゾン)



県職員とリエゾンとの情報共有
(石川県庁)



関係機関との情報共有
(石川県輪島市)

応急対策(排水、道路啓開)、被災状況調査



排水作業(町野川)
(石川県輪島市)



道路啓開作業
(石川県珠洲市)



被災状況調査(砂防)
(石川県輪島市)



被災状況調査(河川)
(石川県輪島市)

被災状況調査(防災ヘリ・Car-SAT)



防災ヘリによる調査
(石川県)



Car-SATによる調査
(石川県)

災害対策用機械(照明車・散水車(給水装置付)等)



照明車による避難所への電源支援
(石川県珠洲市)



散水車(給水装置付)による給水支援
(石川県珠洲市)